

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2631 号

Prognostic Value of Cheyne-Stokes Respiration and Nutritional Status in Acute Decompensated Heart Failure

急性非代償性心不全におけるチェーン・ストークス呼吸と栄養状態の予後予測効果についての検討

Abidan Abulimiti (あびだん あぶりみてい)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、急性非代償性心不全 (ADHF, acute decompensated heart failure) 患者において、心血管疾患の予後予測因子とされている栄養状態のみならず、重度心不全の予後予測因子であるチェーン・ストークス呼吸 (CSR, Cheyne-Stokes respiration) が、総死亡の独立した予後予測因子であり、CSR と栄養不良の合併が長期予後に関連するリスク層別化においても有用であることを初めて明らかにした臨床的に意義のある論文である。ADHF 患者 162 例 (中央値年齢 62 歳、男性 78%) を対象とし、観察期間 41.7 ヶ月 (平均値) で、26 例 (16%) の死亡を認めた (心血管疾患 18 例; 癌 3 例; その他 5 例)。CSR あり+栄養不良群は、交絡因子を調整した後、総死亡と独立した因子であった (HR, 9.30; 95% 信頼区間 1.23-70.47; $p = .03$)。ADHF 患者における CSR の高い合併率は、総死亡率に大きな影響を及ぼし、疾病管理上の課題となっているが、ADHF 患者における睡眠検査は必ずしも十分に施行されていない。したがって、ADHF 患者の定期的な栄養評価に加えて睡眠検査により CSR を評価することで、死亡リスクの高い患者を特定することが可能となることを明らかにした。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。